

# 広島平和記念公園

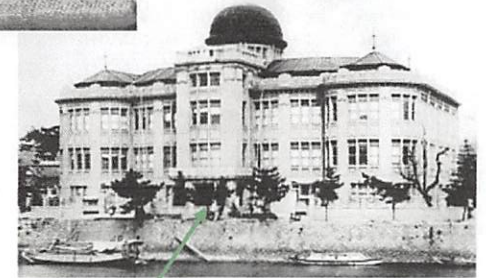


安らかに眠って下さい 過ちは 繰返ませぬから

## 原爆ドーム



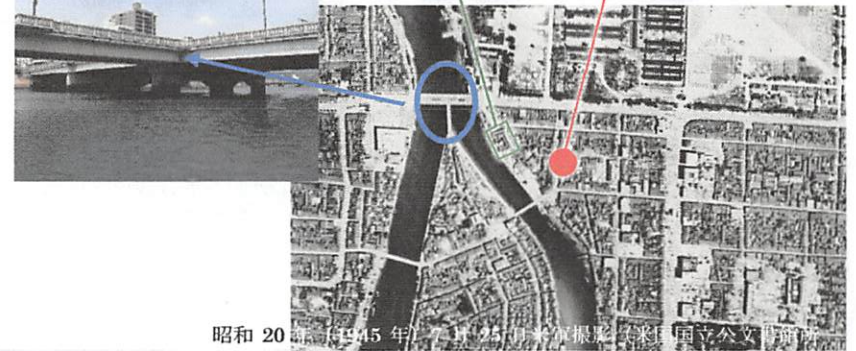
旧広島県物産陳列館  
チェコ人のヤン・レツルの設計  
アメリカ軍の B-29 爆撃機「エノラ・ゲイ」が、建物の西隣に位置する相生橋を投下目標として原子爆弾を投下した。



原子爆弾投下の目標となった相生橋

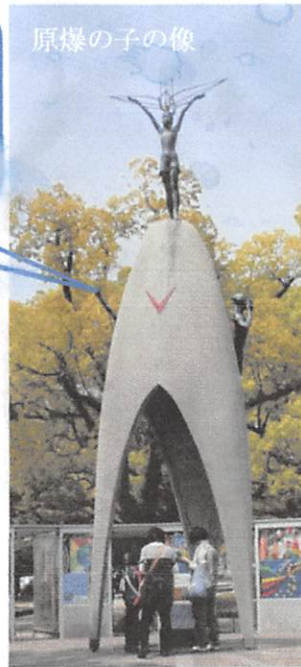
広島県産業奨励館  
(原爆ドーム)

爆心地 (島病院)



頂上には折り鶴を捧げ持つ少女のブロンズ像が立ち、平和な未来への夢を託しています。側面左右の二体は少年と少女と明るい希望を象徴しています。

原爆の子の像



平和の門



10 という門の数は、イタリアの詩人ダンテが書いた『神曲』の中に出てくる 9 つの地獄に、広島の被爆体験という生き地獄を加えたもので、この平和の門は、過去の悲惨な歴史をくぐり抜けて人類が平和な未来に向けて開かれていく希望を表しています。

レストハウス (被爆建物)



もとは大正屋呉服店で、後「燃料会館」となり被爆。強固な建物であったため大破を免れた。戦後直ちに改修し燃料会館として利用された。現在はレストハウスと呼ばれ、無料休憩所、観光案内所となっている。

## 原爆ドーム

原子爆弾は原爆ドーム（当時は広島県産業奨励館）から南東約 160 メートルの高度約 600 メートルの位置で炸裂しました。建物内にいた人は全て即死し、建物内は熱線による火災で全焼しました。爆風の圧力は 1 平方メートルあたり 35 トン、風速は 440 メートルという凄まじいものでしたが、建物の屋根やドーム部分は鉄骨部分を除き、多くは木材で作られていたため、真上からの爆風に対して耐力の弱い屋根を中心につぶされ、厚く作られていた側面の壁は完全には押しつぶされず、倒壊を免れました。

## 平和の灯

1964 年 8 月 1 日建立。設計は丹下健三。反核と恒久平和実現まで燃やし続けられている。火種は、全国 12 宗派からの「宗教の火」、全国の工場地帯からの「産業の火」から。その火種の一つに宮島弥山の「消えずの霊火」が用いられている。

## 「リトルボーイ (少年)」

原子爆弾は、核分裂を連続して起こし、一瞬間に非常に大きなエネルギーを発生させるものです。広島に落とされた原爆は「砲身式」と呼ばれ、ウランを臨界量より少ない二つにわけて筒にいれ、爆薬で二つの塊をぶつけあわせ、臨界量以上になるように作られていました。

細長い形が、研究によって短くなっていったため「リトル・ボーイ」というニックネームで呼ばれていました。

## 佐々木禎子さん

2 歳の時被爆し、10 年後に白血病を発病して亡くなった佐々木禎子さん。その死に衝撃を受けた同級生たちが、「原爆で亡くなったすべての子どもたちのために慰霊碑をつくろう」と全国へ呼びかけ、全国 3,100 校余りの生徒と、イギリスをはじめ世界 9 か国からの支援により、完成したのが、高さ 9 メートルのこのブロンズ像です。

像の下におかれた石碑には、「これはぼくらの叫びです これは私たちの祈りです 世界に平和をきずくための」という碑文が刻まれています。物理学者の湯川秀樹博士が寄贈した古代の銅鐸を模した鐘と金色の鶴がつるされ、風鈴式に音が出るようになっています。(現在この鐘と鶴は、広島平和記念資料館東館 1 階ロビーに展示されています。)